



森ボラ 通信

NPO 法人

第 255 号 2023 年 8 月 20 日発行
北海道森林ボランティア協会

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸 1 条 1 丁目 8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

活動報告

◆ 2023 年度第 3 回親子森林教室活動報告

下草刈りを体験し、木の工作に挑戦し、コウモリの生態を学ぶ

残念ながらホタル観賞は中止に！

2023 年 7 月 9 日、今年度 3 回目の親子森林教室・森しり隊が午後 1 時 30 分から開催されました。当日は好天気で 30℃に迫る暑さが心配されましたが、風もあり森の中は比較的過ごし易い状況でした。隊員 12 名、保護者 10 名、協会員 12 名、総勢 34 名の参加です。

今回の育林活動体験は『下草刈り』です。先ずは、木や森を育てる作業にはどんなものがあり、どんな道具を使うかを、道具を見せながら説明しました。次に、それら作業の一つである下草刈りの体験をしました。リヤカーに手鎌と中鎌を積んでみんなで引っ張り、駐車場手前側の植栽地に行きました。現場では、大窪さんから下草刈りをする 3 つの理由 (①光が当たるようにする、②風通しをよくする、③雑草に土中の栄養分を取られないようにする) を説明し、荒船さんも手鎌・中鎌の使い方を実践説明し、その後家族単位に分かれて 4m×10m の区画の草刈りを親子協働で行いました。初めて鎌を持つ隊員はなかなか使い方を会得出来なかったり、草と稚樹の見分けに悩んだり、しなやかな草に手こずったりしながらも 40 分ほどで予定の区画の草を刈り終わりました。



親子協働で下草刈り体験

今日 2 つ目の活動は「森の木を使った工作」です。鳥の巣箱作りに 3 人、木工クラフト作りに 6 名の隊員と保護者が挑戦しました。巣箱作りでは、昨年作って澄川の森に設置した巣箱が全て使われた痕跡があることが判り俄然力が入った様で、森ボラで予め準備したパーツを、ノコギリを打って組み立てていき、今年も見事な巣箱が 3 つ出来あがりしました。完成した巣箱は秋に森の木に設置する予定です。木工クラフト作りは森に入って小枝などの材料集めをしたあと集めた材料と事前に準備していた材料とを使いながら、それぞれイメージした作品をグルガンや紐を使って作っていきます。結果、時計、スター、家、仮とテブル、うさぎ、車、マホ、各種かざりと、バラエティーに富んだ素晴らしい作品が出来上がりました。



巣箱作り(上)



木工クラフト作り(下)

次に、4 月に植菌して仮伏せしていたホダ木に名札を付けて親子のホダ場に運んで本伏せをしました。ほど良く菌が回っているほだ木もあり、来年の収穫が期待されます。

暗くなる前に今日の活動のまとめをし、それぞれ作った工作作品を紹介し合い、下草刈り体験では刈り終えてスッキリしたとの感想がありました。

恒例のスイカをみんなで味わった夕食の後は、最後の活動になる「コウモリのお話を聴く」時間です。動物写真家の中島宏章さんがコウモリを撮ったスライドを見せながら、クイズを交え、質問に

答えながら軽快に話を進めます。みんな興味深く聴いていて予定の時間は瞬く間に過ぎてしまいました。本来であれば、最後は夜の森を歩いて右精進川まで行き、ホテル鑑賞と超音波探知機によるコウモリ探索の予定でしたが、ヒグマの出没情報が相次ぐ中で安全確保を最優先して中止としました。残念！！ そんな訳で少し心残りの一日でしたが、午後7時過ぎに活動を終えて解散となりました。(文・清澤)

■ 現場報告

◆最近の野幌森林公園再生活動

2018年の台風により倒木被害を受けた野幌森林公園内における最近の活動についてお知らせします。

【野幌道有林】

4年目を迎えた野幌道有林の再生活動は作業手順も安定し、活動は順調に進んでいます。今年度は69林班87小班の一部0.35haで草刈り、地拵え、防草シート布設を行い、9月10日の親子森林教室による植樹祭の準備が進んでいます。ここは自生稚樹のヤチダモ、ハリギリ、ハルニレなどが多く、その間に植樹を行います。同時に今までの植栽地の83小班で下草刈りも行っています。今年の夏は異常に暑いために参加人数が少なく、活動が遅れ気味になっているのが気になります。でも、参加者は大窪さん差し入れのフルーツトマトをほおぼり元気いっぱいです！



植栽地草刈り(2023年7月24日)



防草シート布設(2023年8月11日)

【野幌国有林トトロップの森】

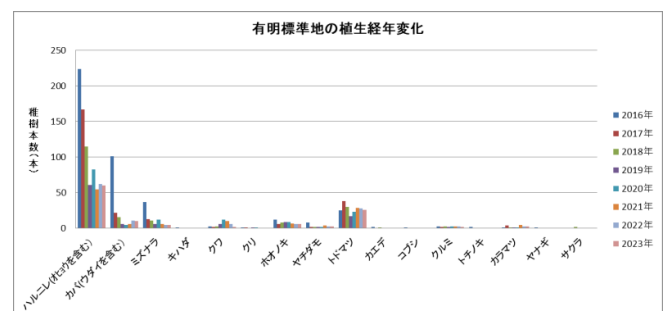
2年目の活動を49林班～小班において、暑さをものともせず10月7日のオイスカ・ユネスコ植樹祭に向けて笹草刈り、地拵え、植樹箇所竹支柱設置と頑張っています。野幌森林公園の草丈は支笏湖周辺とは異なり1.5～2.0mに達し、土壌の栄養分、水分が多いと感じています。来年以降の植栽予定の50林班は面積が大きく笹、草が旺盛に繁茂し、倒木、枝葉も多いので石狩森林管理署に地拵えをお願いしています。ここも会員皆様多数の活動参加をお願いします。(文・事務局)

◆有明・西野標準地の植生調査

最近行った有明第二・西野第二環境林標準地の植生調査の結果を報告します。

【有明第二都市環境林】

札幌市有明第二都市環境林は当会の発足時からの活動地で、全体面積は14ha、その内0.3ha程が太い根曲がり竹(チシマザサ)に覆われたギャップ地でした。そこを木々が生い茂る森林にしようと先輩会員と一緒に苦労してササ藪を刈り植樹をしたがシカが多く生息しその食害により大きな成長はできず、食害防止柵や網を使って稚樹の生長を見守ってきました。避難小屋前に12.5m角の食害防止網を設置して途中で食害が見られたので嵩上げをして約2mの高さにし、12m×6mの標準地を設定し、2,016年



から植生を調査してきたので結果を図に示します。

このギャップ地は0.3ha程の狭い面積なので周辺の母樹からの種子が発芽し生長しています。オヒョウを含むハルニレが多く、トドマツ、カンナ類、ミズナラ、ホオノキが確認でき、樹種数は9種類ほどとなっています。



【西野第二都市環境林】

ここは2004年の台風によりニセアカシアを中心に大きな倒木被害が発生し、その再生活動を行ってきました。育林活動は途中の中止を経て2020年から再開し、笹刈り、枯損木、傾斜木などの危険木整理と標準地設定、植生調査を行っています。調査結果の図を示します。

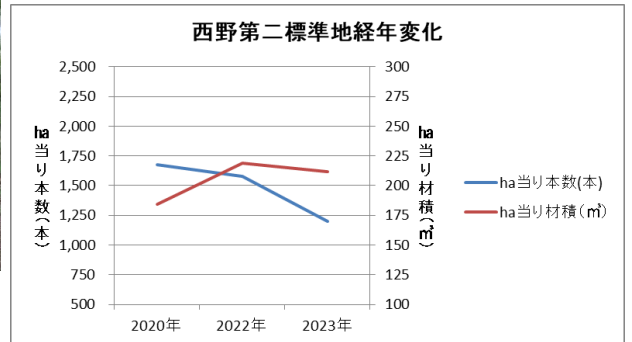
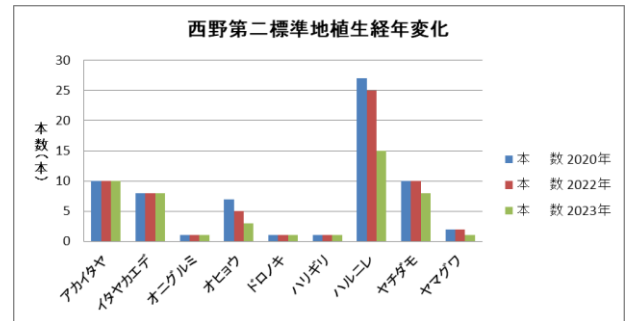
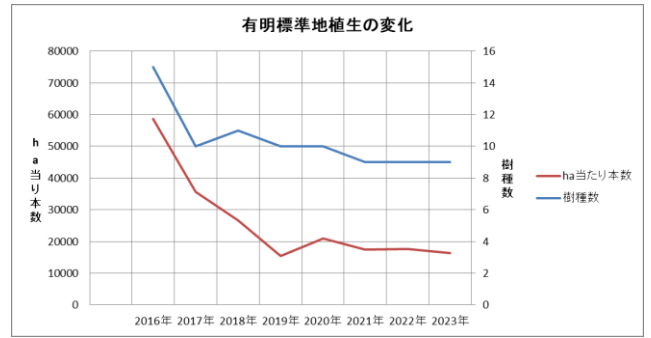
樹種数は9種でオヒョウ、ハルニレがシカの食害により枯死して本数が減少していますが他の樹種の変化は少ないと考えます。ha当り本数は食害により減少傾向ですが、1,200本となっています。ha当り材積は細い樹木が多いので200m³と澄川環境林の平均250~350m³より少ないと言えます。



標準地の状況 (2023年7月11日)

ここではシカの大好きなニレ科に被害が集中し、直径が15cm程度以下、皮はぎの被害は地上から3mに達していることが注目され、最近行っている食害防止ツリーシェルターの設置高さ、設置年数に大きな示唆があると考えます。もうしばらく経緯を観察していきたいと思ひます。(文・樞棒)

ここからはシカの大好きなニレ科に被害が集中し、直径が15cm程度以下、皮はぎの被害は地上から3mに達していることが注目され、最近行っている食害防止ツリーシェルターの設置高さ、設置年数に大きな示唆があると考えます。もうしばらく経緯を観察していきたいと思ひます。(文・樞棒)



■ 澄川の自然 48

クルマユリ(車百合・ユリ科)

この花は真夏の薄暗い森の中でひっそりとそれだけで目立つオレンジ色の元気をくれる花です。

毎年同じ所で咲くこともなく、開花時期も決まっていなく、開花期間も短くて澄川活動日だけでは探すのになかなか苦労します。この写真は、小屋前広場から上流橋に向かう下り坂の左手、のり面に大きな葉っぱがあって、細い茎の先にオレンジ色の花があります。



暗い森の中で木漏れ日を求めてこんなに傾いてしまったのでしょうか。

アイヌの人達も、ユリ根(鱗茎)をお米に混ぜて炊き、近所に配って食べていた様です。現在もお正月になるとユリ根としてスーパーに並びます。 写真・文/西野(澄)

■ 今月の幹事会

出席者(8/9):大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・西野(澄)・松藤・平・老田・早坂

1. 2023年9,10月活動スケジュール(9月幹事会9/6(水)):了承
2. 2023年7月会計報告:了承
3. 2022年度活動計画書の訂正:新会計要領に基づき修正。了承。
4. 2023年度森林・山林多面交付金事業7月報告:多面事務局主催刈払い機研修9/3(当別道民の森)、チェーンソー操作安全研修9/24(澄川環境林)
5. 2023年度親子森林教室第3回報告および第4回(森しり隊植樹祭)の計画骨子:了承
6. 熱中症対策のための活動制限:暑さ指数(WBGT)25~28℃警戒レベル=休憩、給水を多く。28~31℃=午後の活動中止。31℃以上=活動中止。タニタ黒球式温湿度計を購入。現場活動に携帯。
7. 現場報告
 - ・野幌国有林活動状況:49林班へ小班にて229本竹支柱設置。他に25箇所程予定地有。
 - ・有明第二環境林状況:ここ5年程の傾向は変わらず。樹種数は9種、ha当り本数16,300本。
 - ・西野第二環境林標準地状況:シカ被害等により15本減少。ha当り本数は1,200本。
 - ・苗畑の苗木現況:植樹可能本数426本。今年度中に200本程利用予定。
 - ・澄川樹木園整理伐予定:ha当り本数800本程度を目指す。アオダモ、ハルニレを補植予定。
8. その他
 - ・物品購入時の注意事項(改訂1):了承。 ・グループ活動届け出:伐倒技術勉強会。
 - ・20周年記念研修旅行:参加予定者15名で締切り。3泊4日、三重・和歌山方面。了承。
 - ・活動地(野幌、有明)参加者対策:10名以下が続き、活動内容に支障。次年度に向け検討。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
7月17日(月)	澄川	18	北地区整理伐、水質調査、苗畑整備
7月19日(水)	野幌国有林(トロッポ)	9	笹草刈り、地存え
7月22日(土)	澄川	15	樹木園整理伐材選木、ホダ場整備
7月24日(月)	野幌道有林	7	植栽予定地下草刈り
7月26日(水)	澄川	13	E地区歩行者用作業道草刈り、ブドウ棚設置、炭焼き準備
7月28日(金)	有明第二	6	作業道草刈り、標準地調査
7月30日(日)	澄川	12	スイス積準備、竹支柱準備、植菌
8月2日(水)	野幌国有林(トロッポ)	8	植樹予定箇所竹支柱設置、地存え
8月5日(土)	澄川	12	北地区整理伐、スイス式マキ積
8月7日(月)	澄川	9	柵じょうてつCSR準備、北地区樹名板用杭打設、
8月9日(水)	ウルズ研究センター2F会議室	10	幹事会
8月11日(金)	野幌道有林	8	地存え、防草シート布設、イス準備